

OB ひるば



第42年度第11号
大垣青年重役会
平成20年6月25日発行
<http://www.ojb.jp>

Ogaki Junior Board

◎第42年度年間スローガン — バランスのとれた経営 ～根をはること 翼をもつこと～ —

～第42年度OJB研修旅行を開催～

観て、触れて、学んだ 九州3日間の旅

さる6月12日から2泊3日の日程で、第42年度OJB研修旅行が開催されました。今年度は会員からのアンケート結果により、九州（長崎・佐世保・嬉野温泉）方面に出向き、「ジャパネットたかた」への企業訪問等をメインに充実した企画が催されました。



平和祈念公園で平和祈念像をバックに記念撮影



2日目に訪れた大浦天主堂をバックに



宿泊したホテルから長崎市街を望む

◎旅行先 …… 九州（長崎・佐世保・嬉野温泉）方面
◎日 程 …… 平成20年6月12日（木）～6月14日（土） 2泊3日
◎出席者 …… 27名（正会員26名 特別会員1名）



長崎中華街では長崎ちゃんぽんを堪能



ジャパネットたかた撮影スタジオにて、高田社長を囲み記念撮影

第42年度

OJB研修旅行
レポート

研修旅行を終えて

～旅の思い出を綴っていただきました～



「第42年度研修旅行を終えて」 会長 渡部 弘幸

まず、第42年度研修旅行を無事終えることができましたことに感謝致します。嬉野温泉・佐世保・長崎と二泊三日の行程にもかかわらず、27名という多くの会員の皆様にご参加いただき、心より御礼申し上げます。

●有田ポーセリンパークでのろくろ体験は、楽しさと共に集中力を養い。●榑ジャパネットたかた 企業視察では、人の心に気持ちを届ける事の大切さ、そしてやり続ける覚悟が必要であると学び。●平和祈念公園・原爆資料館では、戦争の恐ろしさ愚かさ悲しさを、改めて考えさせられました。

今回の研修旅行では、雨季とは思えない九州の暑い太陽とともに、高田社長・花月の女将さん・バスの運転手さん・バスガイドさんと九州の方々の心の温かさに触れることができ、うれし気持ちで心を満たされました。

また、第42年度研修旅行は渉外活動委員会に担当してもらいました。下見も含めての事前準備、わがままを言う会長、旅行中のイレギュラーと何から何まで大変だったことと思います。担当幹事の望月例会幹事、渉外活動委員会 川瀬委員長、大橋副委員長 本当にご苦労様でした。そして、心より御礼申し上げます、ありがとうございます。

「感動の時間」 直前会長 藤井 重雄

長崎方面へは実に25年振りに訪れるということで、私にとっては青春時代を思い浮かべながらのOJB旅行のはずでしたが、旅行を終えて今思い出するのはそんな郷愁よりもずっと素晴らしい時間をジャパネットたかたで過ごせた時間です。高田社長の「会社はできるだけ大きくしない方がいい」この言葉に私を含め参加者の多くが驚いたのではないのでしょうか？いまや長崎県一の年商を誇る大企業のトップがその人柄から自ら今の心情を語っていただけたのです。

「万が一そう思うのなら相当な覚悟が必要です。なぜなら人を育てる為には個人としては充分と思っても社長としては僅かな問題でも是正に努めなくてはいけないからです。」人材を育成し会社規模を上げる事により新たに生まれる使命。また販売方法のバイオニアらしく「マイナス要因を列記していても前には進めない。常に何が時代に必要とされていくのかいろいろと試していく」など、全ての言葉が私の心の中にスーッと入ってきました。まだまだあの時の感動は私の体中に残っています。最後になりましたが、主となり旅行を取り仕切って頂いた渉外活動委員会並びに担当である例会幹事に感謝を申し上げます。

「熱い思いは通じる」 副会長 三輪 俊明

ジャパネットたかたファンの私にとって、今回の研修旅行は夢のようでした。テレビショッピングの生放送スタジオ見学では、高田社長以下出演者の皆さんとスタッフの一条乱れぬパフォーマンス（我々20数名がうろろうろしているにも関わらず）。本社では予定になかった高田社長のお話を聞くことができました。渡部会長に聞くと、最初は高田社長に会えるかどうかさえわからないとの事でしたが、会長、例会幹事、渉外活動委員長、副委員長が下見として直接ジャパネットを訪問し、真剣にお願いしたところ、今回のような破格のあつかいになったということだそうです。会長以下、担当者の熱い思い、見事高田社長に通じたのです。この事は、私にとって旅行以上に大変勉強になりました。ありがとうございます。

「研修旅行を終えて」 寺倉 毅

第42年度OJB研修旅行にご参加いただき誠にありがとうございます。私は今回のOJB研修旅行は2つのテーマ（研修・親睦）を持ちのぞみました。

・研修ではジャパネットたかたの視察です、TVライブ放送の見学その後本社にて高田社長のお話をお聞きし、会社理念そして社員への信頼と信用と思いやりには感銘を受け、又 私達へご配慮いただき、まことにありがとうございました。そして原爆資料館では、過去の悲惨な光景に今の私たちの幸せを深く考えさせられました。

・親睦では初日のホテルでの宴会そして2次会です、OJBへの思いなど語り合うことができ楽しいひと時を過ごすことができました。嬉野温泉で同部屋の会員と露天風呂へ何気ない話を語り合い温泉に入ることでの心の安らぎをもらえたように思います。

その他 花月での食事など盛り沢山の企画を楽しむことができとても有意義な3日間を過ごすことができました、今回の旅行を企画していただきました渉外活動委員会に感謝いたします。

「研修」 望月 陽一郎

3日間、とても充実した旅行でした。やはり、今回の超目玉企画でありました「ジャパネットたかた」への訪問では、多くのことを学ばせていただきました。まずは、社員のみなさんの我々を迎える姿勢に驚きました。一瞬一瞬が大事な生放送の収録をしながらも、笑顔顔を絶やさず、会釈を何度も何度もされていました。この見学のためにも何れも打ち合わせをし、準備をされていたことが伝わってきました。そして、高田明社長です。ご自身で「私は従業員に対して厳しいです」と言われていました。しかし、1人1人スタッフのことを理解し、コミュニケーションを図り、同じ目標へと導いておられるように感じました。

今回の見学に当たり、参加者名簿（名前・会社名・職種）やタイムスケジュールを送りました。我々との会話の中から、その資料を社長自ら目を通していただいていたことが分かりました。「みなさんは、建設業や飲食業……」、「12時には出ないといけないんですね」など、高田社長の、ジャパネットたかたの凄さをまざまざと感じさせられました。さまざまな媒体を活用した通信販売、高田社長の独特の口調、そういったものが注目され、また、それが企業の発展の要素と考えていましたが、それらはごく一部にすぎませんでした。

トップの目標が明確であり、スタッフはその目標を共有すること。そのために、さまざまな手を打ち、組織を磐石なものにしていく。そういったものが、ジャパネットたかたを全国区へと押し上げていったのではないかと痛感しました。

担当幹事として

ご参加いただきました多くの会員のみなさま、誠に有り難うございました。みなさまのご協力により、無事に終えることができました。担当幹事がいうのもなんなんですが、川瀬委員長、大橋副委員長に拍手を……。

第42年度

OJB研修旅行
レポート

研修旅行を終えて

～旅の思い出を綴っていただきました～



「研修旅行を終えて」 秋田 卓也

今回初めて二泊三日の研修旅行に参加させていただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

いろいろと勉強になり、何よりも参加された会員の皆さまとのふれあいを持ってたことに感謝しております。楽しい三日間でした。ありがとうございました！

「研修旅行に参加して」 羽田 義慎人

「長崎は今日も雨だった」歌にもあるように雨のイメージが強いところですが、梅雨の真っ只中にもかかわらず、それほど暑くもなく3日間ともお天気に恵まれました。お天当様ありがとうございました。

内容はと申しますとしばり切れませんね。でもやはり1番はジャパネットたかた様への訪問ではないでしょうか（しばっちゃいました）。普段何気なく見ているテレビショッピング。それも生放送中を見学させて頂けるとは感謝感激「ワクワク・ドキドキ・ヒヤヒヤ」でした。あれだけの緊張感を社長様やスタッフの皆さんの中、私達も感じさせてもらっただけで「パワー」をいただく事ができました。そして何よりも社長様に頂いたお言葉、「覚悟」忘れる事はないでしょう。ありがとうございました。

まだまだ、いっぱい書きたい事があるんですがまたにしましょう？最後にこの旅行を企画してくださった川瀬委員長様・大橋副委員長様心よりお礼申し上げます。楽しかったです。一生忘れる事はないでしょう。ありがとうございました。

「謎の怪獣出現!？」 土屋 光晴

研修旅行中は梅雨時期にもかかわらず大変良い天気にも恵まれ、約10年ぶりの長崎を満喫する事ができました。また、短い時間でしたが当初は予定に無かった、ジャパネットたかたの高田明社長様の講演も実現しました。これもひとえに、参加された会員皆さんの、日頃の心がけの賜物だと感謝します。

しかし、そんな充実した時間を過ごしていたにもかかわらず、必ず就寝時になると恐ろしい怪獣が出現していたようです。私自身その様子はうかがい知るところではありませんでしたが、朝、目を覚ますと何故か同室の皆さんが「すごかった!!」「眠れなかった…」と口をそろえて言っているではありませんか……恐ろしい事です。極めつけは、3日目の朝、目を覚ますと部屋のある一部分が大変な事に…きつと夜中に出現した怪獣に対して雄叫びをあげ反撃したのでしょうか!? 何故か枕やクッションが一箇所に集中的に投げられた様子が見受けられました……2泊で延べ6名の会員に甚大な被害を与えた怪獣……もう、お気づきでしょうか!? 「土屋イビキ怪獣」が出現!! 当の本人は全く知らず、おかげ様で、短時間に気持ちよく寝ることができました。しかし、次回からの研修旅行では、強制的に、また自動的に1人部屋に収容となりそうです… しっかり自分ネタで申し訳ございません…。ありがとうございました…。

「研修旅行を終えて」 川瀬 由香

まずもって渉外活動委員会といたしまして参加していただきました会員の皆さまに心から感謝いたします。二泊三日という長い時間をありがとうございました。心配していた天候にもとても恵まれ、佐賀の美しい新緑の山々に癒されてきました。

ジャパネットたかたでは、高田社長を本当に身近に感じられるお時間をいただけて、とても感銘を受けております。従業員の方々の細やかな心配りには感動させていただきました。なお長崎の花月での歴史を感じさせる風情を満喫できたことも忘れられない思い出となりました。こちらでも、女将さんの細やかな心配りにも感銘を受け、人の温かさにたくさん触れることのできた旅となりました。長崎は人も街も原爆で失ったものが多いようでいて、古き良き部分がしっかりと残っている街であることに気がつきました。そして何より普通の行事では覗くことのできない皆さまの顔を拝見でき、より親睦が深くなった時間だったと痛感しています。

「研修旅行を終えて」 大橋 博己

今年度の研修旅行は、担当委員会役員としての参加で、色々な事を勉強させていただいた研修旅行でした。人と人との結びつきや一人では何も出来ない事等を身にしみて実感しました。無事に終える事が出来たのも、会員の方々、そして役員の方々の支えがあったからこそだと思います。参加者を集うのにジャパネットおおはしで始まり、人前で話す事が苦手な僕ですが、ほんの少し成長させていただきました。只、残念な事が一つあり、研修旅行中に、ジャパネットおおはしをすっかり忘れていて、参加して頂いた皆様方に楽しんでいただけ無かったことが今でも心残りです。色々とお世話になりありがとうございました。

「長崎にて」 林 威司

1986年に創立後20年で1000億企業となった「ジャパネットたかた」。若々しく明るく、「夢を持ち続け、やり続ける覚悟」を熱く語った高田社長。江戸時代より続く史跡料亭「花月」。小柄で楚々とした、しかし凛とした雰囲気があり、言葉と身のこなしの美しい女将。このおふたりとお会いでき、私は確信を持った。会社は社長で決まる。「会社は人なり」と言うが「人」とはまぎれもなく社長その人である。もつともつと自分を磨き、高めなければ。

第42年度

OJB研修旅行
レポート

研修旅行を終えて

～旅の思い出を綴っていただきました～



「研修旅行を終えて」 佐竹 紀皇

出発日、大垣では、雨が降り、九州地方が梅雨入りしたということもあり、旅行中の天候が心配されました。しかし、皆さんの普段の心がけがいいのか、3日間、雨が降ることがなく、最高の天候の中すばらしい旅行でした。初日の有田ポーセリンパーク「有田焼工房」でのろくろ体験では、子供のころに泥遊びをしているようにおもしろく、時間がたつのを忘れてしまいました。作品の出来上がりが、すごく楽しみです。

嬉野温泉での夜は、記憶がなくなるぐらい私を含め、皆さんはしゃいでいました。会員間の親睦も深まったように思います。

二日目の今回の研修の目玉でもある「ジャパネットたかた」企業視察でのTVライブ放送見学では、こんなに間近で見学できると思っていなかったのが、感動しました。高田社長の人柄には感心させられました。本当に参加してよかったと思いました。また、長崎「史蹟料亭花月」でのしっぽく料理の昼食も、風情があり素晴らしかったです。長崎の夜も、楽しく過ごさせていただきました。三日目は、原爆資料館にいきましたが、ここでは、平和について考えさせられました。

3日間通じて、本当に充実した研修旅行でした。渉外活動委員会の皆様、ご苦労さまでした。

「さるく」 平野 宏司

仕事の都合で途中参加。10年ぶりの長崎は街も自分も当時とは変わっていて、そしてもちろんOJBのみなさんと一緒に研修旅行ということもあって、大変充実したものだ。旅行の楽しみは、その土地々々の企業訪問や名所旧跡探訪、ご当地ならではの食事もあるのだが、なによりもみなさんとともにコミュニケーションをとりながら、それぞれの方のすばらしいところに触れさせていただくことにある。ハナキンの思案橋で遅刻の僕を出迎えてくださった方々、街を散策しながら時に冗談や思慮深い話を交わってくださった方々、もちろん企画された役員の方々……。

「さるく」とは長崎弁で「ぶらぶらと歩くこと」とか。みなさんとともにさるいたのは街並みに限らず自分の現在・過去・未来なのかも少しセンチメンタルになりながら帰途についた。よい思い出と明日への活力を与えてくださいます、ありがとうございます。

「やはり『人』」 川合 麻美

今回の研修旅行、感謝致します。ジャパネットたかたを訪問し生放送の見学。徐々に「凄い！」と感動しました。言葉を交わす事が出来ない状況の中での「あ、うん」の呼吸、スピーディーな連携プレー、各々が自分の役割をスムーズにこなして行く、ものすごいチームプレー。「何なの、これ！」と、衝撃を受けました。その後、社長にお話を伺い納得しました。たかた社長が「凄い人」だった！この人の下で働きたい！この人に着いて行きたい！そう思わせるオーラがすごく出ていました。トップに立つ人が素晴らしいと社員も必然と素晴らしく会社も自然に伸びていく。その実態を目の当たりに見せていただきました。やはり行き着く所「人」なのだ！と。自己研鑽につきると改めて認識させていただきました。今回の企画に関わった役員のみならず、ありがとうございます。お疲れ様でした。

「長崎人に学んだこと」 松本 正平

「OJBは旅行だよ。」そんな先輩の声が聞こえてきそうな研修旅行でした。旅行で学ぶことと講演や書物で学ぶことの大きな違いは、言葉では表しにくい人間力の伝わり方だと思います。実際にジャパネットたかたに行つて、高田社長やその社員達と接しないと解らないこと。実際の長崎の街で、そこで暮らす方たちとコミュニケーションを持たないと伝わってこないことです。ジャパネットたかたが売上1000億を優に越えても、佐世保のスタジオで放送するのは、長崎の人たちが他人への気遣いが優れていてとても相手にやさしいことにあると思います。その県民性が、通販という一見冷たい販売経路であるにも関わらず、何故か暖かみがあり、あたかも目の前にお客がいるように商品の良さを必死にアピールする姿に感動を覚え、商品に付加価値が付き、販売へと結びついていくのでしょうか。

今回、長崎で研修できたことにより、その土地その土地の人の良さを生かした経営の仕方があるのではと考えさせられました。大垣人の良さをじっくり考えてみたいと思います。

「研修旅行を終えて」 岡田 真二

今回私にとって2回目となるOJB研修旅行に参加させていただきました。二泊三日の長崎を満喫させていただきました。

特に初日の夜のWサプライズ、これは強力でした。そして2日目に訪問したジャパネットたかた、直接高田社長の企業理念を聞くことが出来て、これからまだまだ成長していくであろう企業を肌で感じる事が出来ました。

3日目には出島の中の旧出島神学校において偶然にも被爆体験をされたスタッフの宮崎さんから、自ら2歳の時に被爆された経験、そしてそのことによって生じた惨劇、後遺症が最近になって出てきたこと、嫌な顔をすることもなく、使命感を持って話していただき、原爆の恐ろしさを実感しました。

今回の研修旅行は自分にとって心が動く旅行でした。そして研修旅行担当のみなさんありがとうございます。

「OJB研修旅行を終えて」 加納 浩二

今年もOJB研修旅行に参加させていただきました。大変充実した旅行だったと思います。研修先として、伺った「ジャパネットたかた」では、スタジオ見学のほかに本社にて、高田社長のお話を伺うことが出来て感激しました。また、研修だけでなく有田ポーセリンパークではろくろ体験をさせていただきました。見るのと実際にやるのでは大きな違いがあり思ったとおりの作品は作れませんでした、大変楽しい時間をすごせました。他にも盛りだくさんな内容でジャパネットおおはしさんが自信をもって勧められたのがよく分かりました。

このような楽しい旅行を企画してくださった皆さん本当にありがとうございます。

第42年度

OJB研修旅行
レポート

研修旅行を終えて

～旅の思い出を綴っていただきました～



「研修旅行に参加して」 鳥居 清

正直、国内2泊3日研修先1件！という驚きの企画に戸惑いつつも、大好きな原田知世ちゃんの生まれ故郷を肌で感じたい？と思い参加させていただきました（笑）。

ジャパネットたかた様では生放送を直に見学し、高田社長はじめ皆様からクレド（企業理念）について・お客さまに対する思い・放送の裏話などいろいろなお話を聞くことが出来たことが何よりの収穫でした。台本のない約2時間の生という緊張感に包まれるなか、あえて訛りを残した親近感のある語り口やスタッフとの阿吽の呼吸、放送中にクシャミをした会員にもめげずそれら全てを『ライブ感』と捉え、全ての媒体においてお客様の日線に立った『伝える』ことの大切さを肌で感じる事が出来ました。

また、いつながら感心させられるのが、役員の皆様の気配り・目配り・心配りの妙。何事にも柔軟に対応されている姿を見て感じ取るも研修のひとつですね。いい勉強をさせていただきました！有難うございました。

しかし・・・知世ちゃんの実家にたどり着けなかったのが残念だった（悲）。

「研修旅行を終えて」 浅野 信哉

13日午後7時45分から、長崎市内思案橋近くの居酒屋に9人の会員が集結。誘い合うのではなく、自然に集まった9人。それぞれが引きつけ合ったのは重役会に対して熱い思いだと今では確信している。そんな9人なので当然、乾杯を待たずして激論のゴング。3時間を超える集会、内容は濃く意見に対する意見の攻防。もちろん非難ではなく常に前向きな聞き合い。攻防の合間に、ウーロン茶を口にしながらふっと思った。重役会の仲間っていいなあ。

この研修旅行、執行部、役員の皆様には大変お世話になりました。特に渉外活動委員会の委員長、副委員長お疲れ様でした。よい研修ができました。

「OJB研修旅行に参加して」 田口 明

今回の旅行は、過去に訪れたことのない地域でありましたし、ろくろの体験、ジャパネットたかたの訪問と、とても楽しみにして参加させていただきました。率直に、参加してよかったと思っております。ろくろ体験のおもしろさは、やってみないと解らないものでした。またどこかでやってみたい気分になりました。ジャパネットたかたの社長さんのパワーに元気を分け与えられ、今後の企業活動に大変参考になりました。長崎の観光めぐりでは、今の時代に生まれてよかったと思い、核廃絶や平和維持活動などにもできることをしたいなと思います。

最後に、渉外活動委員会の2人をはじめ、役員のみなさまのご尽力に感謝いたします。

「長崎は今日も・・・」 吉田 大助

晴天に恵まれ、長崎の人の特徴なのでしょうか、大らかな雰囲気にも満たされた、気持ちの良い旅でした。

ジャパネットたかたの研修では、社員の皆さんの、元気で穏やかな雰囲気と、生放送、台本無しという緊迫した状況に触れ、その両立の秘訣は、やはりチームワークなんだと領きました。そして高田社長の、「会社の成長のためには、相当の覚悟が要る」というお話がとても印象に残りました。

今回が、私にとって初めての長崎でした。原爆資料館の見学で、悲しい歴史に、今更ながら立っていらなくなる程の衝撃を覚え、人の傲慢さに震えました。大らかな雰囲気の中に、深い悲しみを湛えた美しい街、長崎。またいきたいと思いました。大変有意義な旅行となりました。誠に有難うございます。

「研修旅行を終えて」 三島 ミリアム

まずもって、この場をお借りしてお詫び申し上げます。体調を崩してしまい、ご迷惑ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。ほぼご一緒させて頂けませんでした。その中で沢山のお気遣い、優しさを感じました。有難うございました。

帰りの飛行機のチケットを購入する際の出来事です。販売員の方が「ご気分よろしくないですか？何かありましたら、すぐスタッフにお申し付け下さい」と声をかけて頂き、搭乗の際にも「三島様ですか？ご気分はいかがですか？」又、席についてからも「私も先月急性腸炎になりましたお気持ちよくわかります」とチーフの方にも声をかけて頂きました。私はすっかりANAのファンになってしまいました。経営をしていく中でももちろん利益は大事ですし、利益なければ良い経営者とはいえません。しかし、お客様をファンにさせるという大きな広がり、出会いという点から気遣いという線へそこから広がる面を体で感じました。実際JALカードを作ろうと思っていた私はANAカードを作っていました。（笑）。

「研修旅行にて」 安田 佑次

初日の夜から参加させていただき、そこですでに燃え尽きてしまったところはあるのですが、迎えた今回の目玉「株式会社ジャパネットたかた」様の企業見学。TVでのイメージと若干違い、物の考え方や消費者との距離感に対する考え方、コミュニケーションの大切さなどなど、難しいですが参考にできたらなと思うことが多々ありました。最終日、原爆資料館にて原爆のひどさ悲惨さなど想像をはるかに越え、正直原爆について深く考える事がないのですが今回このような機会を得て、広島もそうですが長崎の方たちは日頃から二度と同じ悲劇が起こらぬことを強く願い日々努力しているのかと思ひ、原爆に対する思いの温度差に改めてショックを受けた旅でもありました。最後に三日間雨を降らせなかった渡部会長をはじめ、旅中お世話になった会員の皆さま、ありがとうございました。良い旅行に参加することができました。

第42年度

OJB研修旅行
レポート

研修旅行を終えて

～旅の思い出を綴っていただきました～



「研修旅行を終えて」川瀬 知哉

今回の研修旅行では貴重な体験ができ、大変有意義な研修旅行でした。まず、ろくろの体験ではろくろの楽しさ、難しさが分かり焼き物の見る目が自分の中で少し変わったような気がします。二日目のジャパネットたかたの見学においては、生のテレビショッピング放送現場を見る事ができ、現場の緊迫感を肌で感じる事ができました。また高田社長のお話で一番印象に残ったのは『受け入れる』というキーワードでした。例えば、景気が悪いから仕方がないという発想ではなくその事実を受け止め、ではその事実からどうしようか？という様に常に対策・改善を進めていくというお話が大変印象に残りました。当たり前の話だと思いがちですがその点が非常に難しく、最善の方法で改善を進められてきたからこそ常に売上を伸ばす企業に成長されてきたのではないかと思います。まだまだその他にも貴重な体験ができ素晴らしい研修旅行に参加させて頂きました。ありがとうございました。

「研修旅行に参加して」藤井 剛和

皆さま研修旅行お疲れさまでした。今年度OJBに入会させて頂き、そして初めての研修旅行、本当に楽しく参加させて頂きました。

やはり、その中でも「ジャパネットたかた」の企業視察は旅行前からいちばん興味があり、実際にあのスタジオに入り、高田社長を見たときは「スター」を見るような眼差しになっていたと思います。ライブ放送を拝見させて頂き、テレビでは映らない

裏側の慌ただしさ、台本がなくその状況に合わせた話し方等、スタジオ見学した人しかわからない醍醐味を味わうことができました。また社員の方一人ひとりが丁寧に挨拶してくださり、良い会社の基本を感じることができました。これは企業の規模と関係なく大事なことで見習うべき姿だと思います。

研修旅行から帰り「ジャパネットたかたに行って高田社長を見た」と言った私自身もちょっとしたスター扱いでした。

「研修旅行をふりかえって」河合 孝浩

OJBに入会し始めての研修旅行でいろいろな経験をさせて頂きました。

初日の有田のろくろの体験では、自分の芸術センスの無さを痛感させられました。しかし物を造る楽しさも味わう事ができました。

今回の旅行のメインの2日目のジャパネットたかたさんの企業訪問は、いつもテレビでお見かけする社長を始めとする出演者の方にもお会いでき、そのお話の中で『商品を買う人の気持ちを考えることの大切さ』というものを学び、わが社の顧問先の気持ちを大切にできていなかった部分はないかと考えさせられました。また全てのスタッフの方が僕達の顔を見るとご挨拶を頂き、社員教育のレベルの高さを感じました。そういう根底にぐんぐん業績を伸ばしている会社というのがあると思いました。

最終日の長崎の原爆資料館では展示物の一つ一つから感慨深いものを感じ、原爆の恐ろしさというものを痛感させられました。

3日間とても有意義な旅行でした。ありがとうございました。

おし

らせ

I N F O R M A T I O N

Information

委員会活動

●講師を囲む会

と き……7月9日(水) 21:10～22:30
と ころ……大垣フォーラムホテル2F 大日の間
会 費……3,000円
対 象……正会員、特別会員

●第3回長期計画委員会(長期計画委員会)

と き……7月16日(水) 18:30～21:00
と ころ……鈴乃屋 大垣市郭町東1-39
TEL:0584-78-2227

会 費……5,000円

テマ……OJBの存在意義・未来について語り合おう

～合同委員会的宴会的ディスカッション～

●第3回長期計画委員会二次会

と き……7月16日(水) 21:20～23:20
と ころ……金平糖(こんぺいとう)
高屋町イレブンビル4F
TEL:0584-75-5707
会 費……4,000円